

対象年度	令和 4年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	農道整備事業						予算事業名	農道整備事業費						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
			06	01	08	20								
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分	主要事業						
	特色ある農業の振興と活性化 農村環境の保全						担当課係等	農政課 農政係						
事業期間	継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
舗装整備を行うことで荷傷みを軽減し、農産物の品質低下を防ぐとともに、農村地域における生活環境の改善を図る。						農業生産基盤施設としての農道の整備を行い、農村地域の生活環境の改善を図るため。								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
畑地や水田地帯の未舗装道路を舗装整備する。						畑地や水田地帯の未舗装の市道 農道周辺の農業従事者								
						【事業をとりまく環境の変化】								
						舗装整備に関する要望は例年増加傾向にあり、対応しきれていない状況にあるが、緊急性や利便性を精査し、年次計画において対応している。								
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】						
調査・境界確認・設計・整備				調査・境界確認・設計・整備				調査・境界確認・設計・整備						

■事業費

		R02年度	R03年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他の	0	0			
	一般財源	14,795	21,000			
歳入計 (千円)		14,795	21,000			
歳出内訳	節 (番号 + 名称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	12 委託料	0	1,000			
	14 工事請負費	14,795	20,000			
歳出計 (千円) (A)		14,795	21,000			
伸び率 (%)			41.93			
備考	総合計画85ページ 予算書124ページ					

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	舗装箇所	箇所	目標	3.00	4.00	4.00
			実績	3.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	舗装延長	k m	目標	18.50	18.90	19.40
			実績	18.50	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	農道を整備することにより、出荷物の荷傷みが防止され、生産性が高まるとともに、農村地域の生活環境の向上が図られる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	当事業は公共道路である農村地域の市道の舗装整備であることから、市の事業として実施する必要がある。
	手段の妥当性	A 妥当である	整備する農道の状況に応じて、測量や設計業務を直営で行うか委託するかを適宜判断するとともに、農道の舗装整備に際しては、国が定めた基準に準じて実施している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	現場測量や工事設計及び積算は、基本的に職員が行うことによって、コストの削減を図っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	道路は公共施設であるため、市民の誰もが利用できるものである。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	毎年、4～5路線の舗装整備を実施しており、整備された路線や路線延長は増加している。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	年次計画により舗装整備を行っているが、地元からの要望件数も多く、すべてに対応することが困難であるため、要望されているが未整備の路線も多く残されている。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

農道整備は計画的に行っており、その成果は順調に上がっている。また、舗装整備された農道は、道路としての利便性が向上するため、農耕車だけでなく一般車両の利用も増加している。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

農道整備は、早期に多くの地元要望に対応できるように、今後も、年次計画によって実施していく。なお、農道の一般車両の通行増加によって、農耕車の往来や農作業に支障が生じないような方法も、検討していかなければならない。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充）
 改善改革しながら継続
 現状のまま継続（改善・改革なし）
 統合・新規事業への展開
 縮小
 休止
 廃止・終了
 予定どおりの要求
 一部改善の上要求
 今回は見送り
 その他の処置

方向性の具体的内容

地元から農道整備の要望が上がっているが、未整備の路線が多く残されているため、予算を拡充しながら計画的に進めていく。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充）
 改善改革しながら継続
 現状のまま継続（改善・改革なし）
 統合・新規事業への展開
 縮小
 休止
 廃止・終了
 予定どおりの要求
 一部改善の上要求
 今回は見送り
 その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。